

おいせのもり 御伊勢森遺跡第2次調査、かみかすや 上粕屋・黒岩遺跡、くろいわ
かみかすや 上粕屋・きたくぼ 北久保遺跡

伊勢原市 No.39・74 遺跡



1. 御伊勢森遺跡 縄文時代 集石



2. 御伊勢森遺跡 縄文時代 住居址床面



3. 上粕屋・黒岩遺跡 縄文時代 住居址



4. 上粕屋・北久保遺跡 中世 溝状遺構

● 主な調査成果

御伊勢森遺跡第2次調査と上粕屋・黒岩遺跡は、道路を挟んで近接する遺跡です。両遺跡からは、近世、中世、奈良・平安時代～弥生時代、縄文時代の遺構と遺物が出土しました。近世、中世、奈良・平安時代～弥生時代では遺構を検出したものの、遺物は多くありません。縄文時代では、竪穴住居址、掘立柱建物跡、集石、土坑、ピットを検出しました。竪穴住居址は両遺跡併せて11軒検出しており、出土した遺物から縄文時代中期中葉～後葉に帰属時期すると考えられます。過去に行われた周辺遺跡の調査でも、ほぼ同時期の住居址が検出されており、それらと関連があるものと思われます。

上粕屋・北久保遺跡は、上記2遺跡からやや離れて位置します。近世、中世の遺構と遺物を出土しました。中世の遺構は溝状遺構で、南側にある台地から北側にある谷戸に向かって掘られており、規模の大きいものでした。この溝は、本遺跡調査後に南側にある台地で行われた調査で、これに繋がる溝が検出されています。機能としては、台地側の調査成果と合わせて検討する必要があります。

- 調査期間 2010年6月16日～2011年3月31日
2011年5月16日～2012年1月31日
2014年6月17日～7月15日、2015年3月1日～8月31日
- 事業者 中日本高速道路株式会社
- 調査原因 新東名高速道路建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査
- 時代 近世、中世、奈良・平安、古墳、弥生、縄文
- 所在地 伊勢原市上粕屋
- 遺跡位置 小田急小田原線伊勢原駅から北西に約3kmの御伊勢ノ森から秋山・辻にかけての台地上

